

初めての人のための 英語の論文の書き方

荒木光典



難しそう？

▶ 大丈夫

できます。

手順

まず結果は必要

1. 執筆前打ち合わせ
 - ✓ 図、表、（要旨）を用意する。雑誌の決定。
 - ✓ 共著者の後だしコメントを防ぐ。
2. 雑誌の投稿規定を確かめる
3. **和文原稿作成**
 - ✓ 通常、1-2報目までは和文から開始
 - ✓ この段階で論理を完成する
4. **英文原稿作成**
 - ✓ 英文の作成に集中する
5. 学外共著者への原稿配布（もしいれば）
 - ✓ 全員に周知し確認を受ける
6. 英文校閲（業者）
 - ✓ ここまではto be submitted.
 - ✓ 業績として主張できない

手順

7. 投稿

- ✓ submitted.の段階(業績として主張できない)

8. レフリーコメント対応

- ✓ 数個から極端な場合は数十個の質問に回答する
- ✓ 英文再確認の要請

9. 受理

- ✓ 最短で翌日、この瞬間から業績になる
- ✓ in pressの段階

10. 校正刷り確認

11. 出版

- ✓ Web、冊子体で出版される。
- ✓ ページ数が決定される。

12. 代金の支払い

初めての原稿作成手順

責任者 添削

英文 第六稿

英文 第五稿

英文 第四稿

英文添削

研究内容議論・英文添削

Tutor 添削

英文 第三稿

英文 第二稿

英文 第一稿

英文添削

意味不明箇所修正

和文 第三稿

和文 第二稿

和文 第一稿

論理検討・不足情報議論
日本語指導

枠の太さは大変さ

執筆者の心得

- ▶ 前例となる原稿を参考にはじめる。
- ▶ 添削しやすいように、ダブルスペースで作成。
- ▶ 添削を受けた箇所を、**添削反映後に確認する**
 - ▶ 確認しない場合、
反映忘れ・ミスが1割ほど発生する。

その他、言いたい事がたくさんあります。

本日省略

Tutor の心得

- 最終的に必要な努力量を示す（本プレゼン）
- メリットを示す（本プレゼン）
- 執筆者に適切なスタート地点（和文か英文か）を示す
- 後戻りをさせない
 - 論理⇒文章
 - ×「やっぱり日本語で書いて」
- 論理の分析
 - なぜわかりにくいのか
 - 論理展開の何処がおかしいのか
- 英文の添削
 - 修正の理由
 - 良くない点の解説
 - 弱点分析

（注）指導される側としては、これらは必ずしも期待できない。

迷走こそ真の教育

どんなメリットがあるか？

業績

修士から就職する人

- ▶ もし、就職活動に間に合うなら
 - ▶ 就職に有利（研究部所）
- ▶ 就職後の昇進
 - ▶ 残念ながら武器にならないらしい
- ▶ 転職の武器になるはず
 - ▶ 企業の業務は、自分のキャリアとしての客観的な証拠がない
 - ▶ 個人名における生涯唯一の業績（？）

どんなメリットがあるか？

技術

修士から就職する人

- ▶ 文書作成技術の習得（日、英）の機会
- ▶ 奨学金返済免除、就職、転職、昇進、業務における文書作成
- ▶ 真剣執筆、真剣添削の機会
 - ▶ もし、論文を執筆しなければ
 - 最悪の場合、卒業までにA4-1枚を2回のみ
 - **卒業後は添削を気安く人には頼めない**
- ▶ **英文作成技術はどれだけ価値のある？**

業者の英文添削価格



丸善の場合

5000ワード（和12500字）

- ▶ **英文添削Ligth** 34,000円～80,000円（納期依存）
 - ▶ 再添削不可
 - ▶ ある程度の実力が必要（ネイティブのみ添削）
 - ▶ 下手な原稿は普通コースが進められる（経験有）
- ▶ **英文校正（普通）** 80,000円
 - ▶ 再添削可（レフリーの忠告等）
 - ▶ ある程度の実力が必要（ネイティブのみ添削）
- ▶ **和文翻訳**
 - ▶ 225,000円～412,500円（コースに依存）
 - ▶ 日本人の英語の実力者＋ネイティブのチーム



まとめ

- ➡ 論文執筆は
 - ➡ それなりに大変
 - ➡ でも、やればできる
 - ➡ メリットいっぱい